

適性検査問題（例）の出題方針について

八王子地区中高一貫6年制学校（仮称）

●出題の基本方針

1 育てたい生徒像

- (1) 多摩の自然と文化を慈しみつつ、地域の自然環境や文化・歴史に目を向けることから始めて、視野を地域から世界へと広げ、国際社会における次世代のリーダーを目指す生徒
- (2) 豊かな心と健やかな体をはぐくみ、自己と他者をよく理解して、互いに力を合わせて行動する生徒
- (3) いろいろなことに興味・関心をもち、自ら課題を見つけ、意欲的に学習するとともに、その成果を自己の進路実現に生かせる生徒

2 出題の基本方針

上記の育てたい生徒像に基づき、小学校で学習した内容や知識を単に問うのではなく、学習活動への適応能力、学校生活全般や身近な地域・社会に貢献する意欲、自ら思考・判断し行動できる意志と能力をみるために、以下を出題の基本方針とする。

- ①文章を深く読み、その内容を的確にとらえた上で、自己の思考や判断を加え、論理的に説明する力をみる。
- ②資料や図・表などの各種具体的資料を活用し、自らの考えを導き出し効果的に表現する力をみる。
- ③物事を多面的にとらえ、様々な考えを広く受け入れた上で、よりよく解決するための手だてを見いだす力をみる。

●各適性検査の出題方針

出題の基本方針に基づき、以下の通り、適性検査Ⅰ、適性検査Ⅱを実施する。

適性検査Ⅰ（45分）

具体的資料を深く読み取り、分析・考察する力や、課題に対して思考・判断し的確に表現する力をみる。また、身近な地域で見ることができる事象に対して興味・関心をもち、自然や社会現象に対して調査し考察する力をみる。

適性検査Ⅱ（45分）

与えられた文章等を深く読み取り、課題に対して自己の経験や体験に基づき、自らの考えや意見を明確かつ論理的に表現する力をみる。

●問題構成及び各小問の出題のねらい

適性検査Ⅰ		
問題構成	出題のねらい	
①	問題1	資料を活用し、自らの考えを導き出し、効果的に表現する力をみる。
	問題2	与えられた条件からよりよく解決するための手だてを見いだす力をみる。
	問題3	課題に対して、内容を的確にとらえ、思考・判断を加えて、論理的に説明する力をみる。
②	問題1	与えられた条件を整理し、論理的に考え、答えを導き出す力をみる。
	問題2	与えられた条件から論理的に説明・表現する力をみる。
	問題3	与えられた条件から論理的に考え、答えを導き出す力をみる。
③	問題1	資料を読み取り、数量の関係をふまえ、計算する力をみる。
	問題2	個々の資料の関係を把握し、それを的確に分析し、表現する力をみる。

適性検査Ⅱ		
問題構成	出題のねらい	
①	問題一	文章を深く読み取り、その内容を的確にとらえて、課題に対して決められた字数で表現する力をみる。
	問題二	文章を深く読み取り、その内容を的確にとらえた上で、自己の思考や判断を加え、論理的に説明する力をみる。

●適性検査問題（例）の解答例

適性検査Ⅰ

①

【問題1】

メスの方がオスよりも重い

理由 メスの体重は、3.0グラムの数が一番多いのに対して、オスの体重は、2.4グラムの数が一番多いから。

【問題2】

セミをビニールぶくろに入れ、かた方のプラスチック製のカップに入れる。そのとき、同じビニールぶくろを、分銅を入れた方のプラスチック製のカップにも入れる。

【問題3】

アルミニウムのはり金を10本同じ長さに切る。てんびんのかた方のカップに1円玉を1つ入れ、もう一方のカップに同じ長さに切った10本のはり金を入れる。1円玉の方が重かったら、もう一度その長さより少し長く10本のはり金を切り直す。はり金の方が重かったら、10本のはり金を同じ長さずつ少し切る。それをくり返すつりあえば、そのはり金1本の重さが0.1グラムとなる。

2

【問題 1】

正解した問題の数 2問

説明 はるきくんは3問、なつこさんは1問、ふゆみさんは2問正解であるので、あきおくん以外の3人の正解の合計は $3 + 1 + 2 = 6$ 問。また、どの問題も2人ずつ正解しているのので、正解数の合計は $4問 \times 2人 = 8$ 問となる。だから、あきおくんが正解した問題の数は、 $8 - 6 = 2$ 問

【問題 2】

はるきくんは1問だけ不正解で、その問題はなつこさんが正解した問題である。1問目のはるきくんの答えアが不正解だとすると、はるきくんは2～4問目を正解したことになり、なつこさんは1問目を正解したことになる。したがって、なつこさんは2～4問目を同じ記号で答えたことになる。しかし、なつこさんがどの記号で答えても、はるきくんが同じ記号で答えて正解した問題がある。これは、なつこさんが1問しか正解できなかったことと合わなくなる。つまり1問目はアが正解である。

【問題 3】

解答例

	1 問目	2 問目	3 問目	4 問目
はるき	ア	イ	ウ	ア
なつこ	イ	ア	イ	イ
あきお	ウ	イ	ウ	ア
ふゆみ	ア	ア	イ	イ
正解	ア	ア	ウ	ア

3

【問題 1】

1995年を例とした計算式

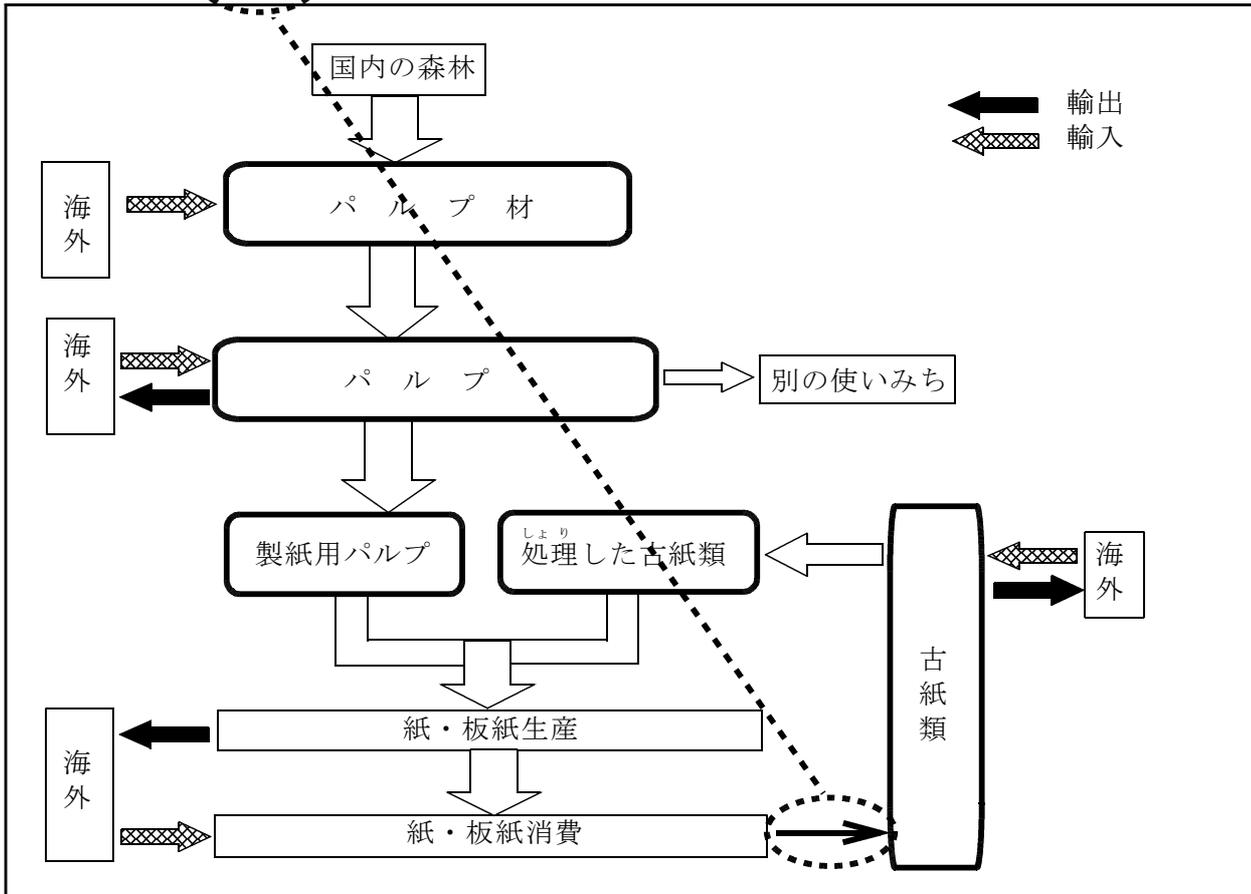
$$1110 \text{ [万トン]} \div (1 - 0.25) = 1480 \text{ [万トン]}$$

2000年、2005年も同様に求めると次のようになる。

$$2000年 \cdots 1443 \text{ [万トン]} \quad 2005年 \cdots 1317 \text{ [万トン]}$$

【問題 2】

次の  を書き入れる。



資料はグラフ または を選ぶ。

資料から分かることの例

の例。日本は、古紙の回収率・利用率ともに世界の平均よりも高い。

の例。1995年から2005年までの古紙回収率ののびに比べて、古紙利用率ののびが小さい。

適性検査Ⅱ

1

【問題一】

時間には規則的に流れる時間や心が感じる時間があり、私たちは、さまざまな時間に囲まれて生きている。(48字)

【問題二】

(解答例) 選んだ番号：③

小学校六年間の数多くの思い出、その中の時間は本当に不思議だと、ぼくは思います。

毎日いろいろなことを注意されて、投げ出されたりなぐられながら繰り返した音楽発表会の練習。一曲の五分が一時間にも一日にも感じました。でも、大勢のお客さんの前で本番は、始まったと思ったら、次のしゅん間には、もう終わっていました。本当にうれしかった会場からの大きな拍手は、数秒だったはずが、何分も鳴り続けているように思いました。それに、長かったはずの練習なのに、何がどうつらく苦しかったのかよく覚えていません。反対に、あっという間だった本番は、先生の指きの細かい指示や、その時にみんながどう反応したか、自分ではどの部分がうまくいって、その時に友だちと目があってなどとくわしくはっきりと覚えているのです。

おそらく、全力でがんばったことや集中力、それから、自分の体調などが、本番中の多くのことを心に残せるほど中身をこくし、その楽しさが、練習中の長い苦しさを短く感じさせるのだと思います。時計で時間をはかるだけなら、練習も本番も五分は同じ五分。その五分間の中での自分の心のもち方で、長くも短くも感じてしまう時間は本当に不思議です。